

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月17日

事業所名 三条市子ども発達ルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		
	②	職員の配置数は適切であるか	9		
	③	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9		・手洗い場の高さは子どもには高いが、台などを用意し配慮している。
	④	指導室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		・指導室、玩具等の消毒、清掃を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		・日々の打ち合わせや運営会議の際に話し合いを行い、業務改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		・児童発達支援自己評価表を配布し、評価に基づいて業務改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9	・第三者による外部評価は行っていないが、外部から意見があれば、その都度改善している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		・年6回の内部研修の実施、またオンライン研修の視聴により、研修の機会を確保している。 ・研修だけでなく、日々の業務の中でも職員同士でアドバイスし合うよう努めている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		・発達表や医療からの検査結果等を参考にしている。 ・複数のアセスメントツールを使用し、客観的に評価している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		・指導前後にカンファレンスを実施し、利用者の発達段階に合った活動プログラムを検討し、提供している。 ・クラス担当職員だけでなく、担当外の職員にも必要に応じて相談し、アドバイスをもらうなどしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		・指導前後にカンファレンスを実施し、利用者の発達段階に合った活動プログラムを検討し、提供している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9		・計画の目標に沿って子どもの様子を評価できるよう、個別活動、集団活動を組み合わせ合わせて行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		・毎回指導前後に打ち合わせ、振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		・毎回指導の度に記録をとり、必要に応じて改善につなげている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		・児童発達支援管理責任者及び各担当者がサービス担当者会議に参加している。
	⑳ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		・医療の指示のもと、相談支援事業所、保健師、各所属先(保育所・園、幼稚園、こども園)と連携をとるよう心がけている(他事業所併用児については、各事業所と情報共有し、連携を図っている)。
	㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		該当なし	
	㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		該当なし	
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・サービス担当者会議等に参加し、お子さんの様子や支援について共有をしている。 ・必要に応じて訪問したり、面談等を設けている。
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・就学児については、年度初めに各学校へ引き継ぎ案内を周知し、必要に応じて支援内容等の情報共有をしている。
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		・できる限り、研修を受講するよう心がけている。 ・長岡療育園から作業療法士に入室してもらい、スタッフの指導向上のため、助言を受けている。(令和3年度は4回実施)
	㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		該当なし	
	㉗ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9		・副管理者が参加している。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		・指導場面で子どもの状況や支援等についてお伝えしつつ、共通理解を図っている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9		・子育て支援講座を年1回実施している。 ・指導時に保護者の対応力向上のため、その都度関わり方を伝えている。
	保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	
㉛ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		9		
㉜ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		9		・児童発達支援計画説明時や指導時に、保護者からの要望があれば必要に応じて相談に応じたり、必要な助言と支援を行っている。
㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		8	1	・保護者会等は実施していないが、保護者支援を通して連携が図れるよう支援をしている。 ・就園前説明会や就学前説明会、子育て支援講座などの行事を通して保護者同士の交流の場を設けている。
㉞ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		9		・できる範囲で体制を整備するとともに、保護者に周知し、理解していただけよう対応している。
㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			9	・会報等は発行していないが、行事予定や連絡等については配布や掲示によって発信している。また就園前及び、就学前説明会、家族支援講座等の開催後は資料等を掲示し、誰でも閲覧できるようにしている。
㊱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか		9		・ファイル等は鍵付きの棚で保管している。席を離れる時は個人情報が見えないよう配慮している。
㊲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		9		
㊳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			9	・個人情報保護の観点から、地域住民を招待する行事等は行っていない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>各マニュアルについては運営規定とともに掲示している。</li> <li>事業所内で研修等を行っている。</li> <li>入室前面談時に保護者に説明を行っている。</li> </ul>
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が所在する栄庁舎の消防訓練に参加している。</li> <li>火災、地震等を想定した机上での研修も実施している。</li> </ul>
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>初回アセスメント時に確認している。</li> </ul>
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、適切な対応がされているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>食事提供はしていない。教材等で食品を扱う際にはアレルギーの有無を保護者に確認し、同意を得た上で提供している。</li> </ul>
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット事例があった際は、報告書を作成し、その都度職員で共有、改善している。年度末にも次年度に向けて再度共有している。</li> </ul>
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度より、虐待委員会を事業所内に設置。虐待研修への参加を行うとともに、全職員へ研修報告をし、共有を図っている。</li> </ul>
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて個別支援会議等で職員間で話し合いを行い、保護者に説明をした上で了承を得てから児童発達支援計画書に記載している。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。